

ご利用案内

【放映内容】…各回約 45 分 定員 90 名(※今後変更となる場合がございます)

放映日	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目
土曜日 日曜日 祝日	9:45 (こども向け①) 冬の星空解説(15分) まほうつかいリリイ せいをさがしに (23分) ※1月から	11:15 (こども向け②) 冬の星空解説(15分) クレヨンしんちゃん 星空と学校の七不思議だ ゾ!(25分)	13:30 (全世代向け) 冬の星空解説(15分) えんとつ町のプペル POUPELLE OF CHIMNEY TOWN(25分)	15:00 (科学番組) 冬の星空解説(15分) めざせ!?火星ライブ (26分)

金曜日	19:00 (全世代向け星空解説) ナイトプラネタリウム (40分) 季節の天文イベントを解説 員がバラエティー豊かに お伝えします。
-----	---

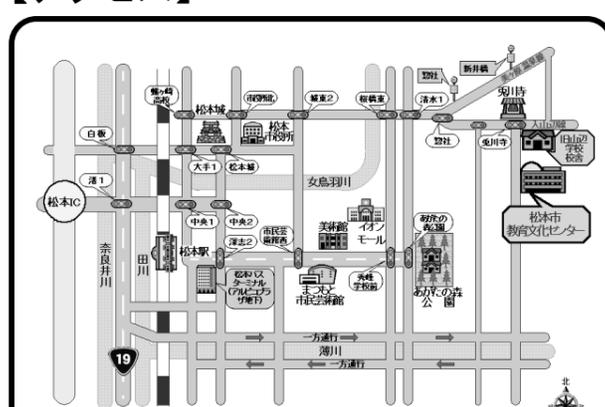
※ご希望による放映も行っております。
当面は新型コロナウイルス感染拡大防
止対応をとらせていただきます。詳細は
お問い合わせください。

【観覧料】

高校生以上(個人)	520 円
高校生以上 (団体 20 名以上)	410 円
中学生以下	無料

- ★博物館パスポート 1 枚につき、高校生以上 1 名無料
- ★転入世帯優待券 1 枚につき、1 世帯家族無料
- ★障害者手帳持参により、本人とその介助者 1 名無料
- ★市内在住 70 歳以上の方は無料

【アクセス】



【交通案内】
〈バス〉 松本バスターミナル 3 番のりばより乗車
美ヶ原温泉線 新井橋で下車 徒歩 15 分
〈車〉 長野自動車道松本 IC より約 20 分
駐車場 60 台(無料)

《お客さまへのお願い》

1. 入場前の受付用紙への記入にご協力をお願いいたします。
2. 入場前の検温、手洗いや消毒へのご協力をお願いいたします。
3. マスクのご持参をお願いいたします。着用をしていない方はご覧いただけません。(2 歳未満除く)

【星空クイズ!リターンズ!】

(三大流星群 編)

一年の初めに見られる流星群は?

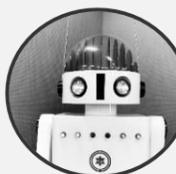
- ①ふたご座流星群②ヘルクレス座流星群
③しぶんぎ座流星群④ジャコビニ流星群

〈ミニ解説〉

北天の星座、りゅう座付近には 2 つの流星群の放射点があります。1 つは、元旦付近に出現する「しぶんぎ座流星群」。しぶんぎとは観測器具の「四分儀」を指し、現在は存在しません。もう 1 つは、りゅう座の頭部付近から出現する「10 月りゅう座流星群」です。別名「ジャコビニ流星群」とも呼ばれ、歌のモチーフに使われたこともあります。



クイズのヒントは
表紙にあるよ!
答えは中ページ



センター マスコットキャラ
じゃんけんロボット

松本市教育文化センター
〒390-0221 松本市里山辺 2930-1
TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604
E-mail: kyoubun@city.matsumoto.lg.jp



ツイッター

ほしみる

No.84 2020.12.26

2021 年も
センターをよ
ろしくお願
いいたします!

2021 年も星空とともに

2021 年最も注目の天文イベントは、2 回発生する「月食」です。また、8 月の「ペルセウス座流星群」が良い条件で観察できます。2021 年も星空を楽しく見上げられそうです。

2021 年の主な天文情報

- 1 月 3 日 **しぶんぎ座流星群が極大** (極大時 23 時。月明かりがあり見づらい)
- 5 月 26 日 **スーパームーン(2021 年最大の満月)の皆既月食** (一部地域では月出帯食)
- 8 月 2 日 **土星がやぎ座で衝**
- 8 月 13 日 **ペルセウス座流星群が極大** (極大時 4 時。月明かりがなく好条件)
- 8 月 20 日 **木星がやぎ座で衝**
- 9 月 21 日 **中秋の名月**
- 10 月 30 日 **金星が東方最大離角**
- 11 月 8 日 **金星食** (惑星食、昼間の青空の中で見える)
- 11 月 19 日 **部分月食** (ほとんど皆既に近い)
- 12 月 3 日 **火星食** (惑星食、朝の青空の中で見える)
- 12 月 8 日 **金星が最大光度**
- 12 月 14 日 **ふたご座流星群が極大** (極大時 16 時。月明かりがあり見づらい)



皆既月食のとき、満月が赤黒く染まります。

- ★6 月～8 月に、木星のガリレオ衛星同士の相互食が頻繁に起こります。
- ★日本では見られませんが、2021 年は日食が 2 回起こります。

主な天文用語

- ★1**流星群**→毎年決まった時期に、空の 1 点から流星が放射状に飛び出す現象。地上からは、特定の星座から流星が飛び出して見えるため、流星群ごとに星座の名前が付けられます。特に有名なのは、三大流星群と呼ばれる「しぶんぎ座流星群」「ペルセウス座流星群」「ふたご座流星群」です。
- ★2**極大**→天体の活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる期間を指します。
- ★3**月食**→月が地球の影に入り込む現象。月が地球の濃い影(本影)に入り込み、月全体が暗くなったように見えるときは「皆既月食」、月の一部が欠けて見えるときは「部分月食」と呼ばれます。また、月食の最中に月が地平線から上ってくることを「月出帯食」といいます。
- ★4**衝**→外惑星(火星、木星、土星、天王星、海王星)が地球を挟んで太陽と正反対の位置にあること。このとき惑星は一晩中観測でき、大きく明るく見えます。
- ★5**最大離角**→地球に対して、内惑星(水星と金星)が太陽から東または西へ最も離れて見えるとき。地上から見る惑星の高度が大きくなるので、観測に適しています。東方最大離角の時は日没直後の西の空、西方最大離角の時は日の出前の東の空で惑星が見えます。
- ★6**食**→惑星や恒星が、月や他の天体によって隠される現象。
- ★7**光度**→地球から見たときの天体の明るさ。最大光度のときに最も明るく見えます。

